

1. 第 期整備内容

(1)上池の掘削（上池・ 期）

1)目 的

上池の河床を掘削し、平常時水面の拡大を図る。

2)基本方針

第 期で実施される上池での試験掘削のモニタリング結果及び地下水位観測結果等を踏まえて、範囲、深さ、形状を決める。

3)設計の基本事項

○掘削範囲（ ）

- ・現在の上池の河床を掘削することを基本とするが、エコトーンの整備と合わせて周辺と一体的に掘削する。なお、エキサイゼリの生育箇所は掘削範囲から除外する。

○掘削深さ及び形状（ ）

- ・現況河床高に対して、約 80cm の堆積土厚を見込み、河床を掘削する（80cm はボーリング結果で得られている堆積土厚の池端部を除く最大厚より設定している。掘削にあたっては、堆積物の層厚に応じて、対応する）。掘削後の河床形状は、縦断的、横断的に変化を持たせる。特に水際部は、水生植物の生育を考慮し、勾配の緩い箇所を設ける。

○道路横過部（ ）

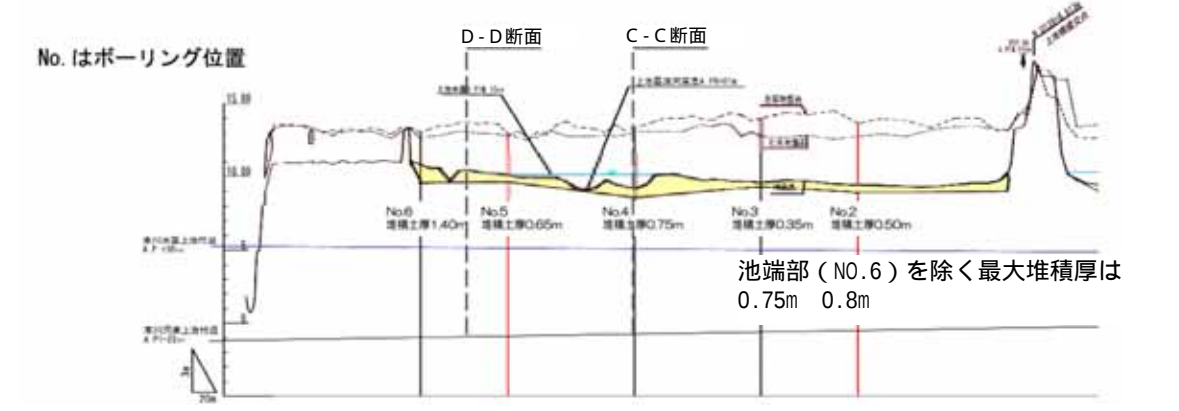
- ・道路横過部は、道路機能を考慮した上で、当面、現状を維持した形状で掘削する。その後のモニタリングの結果、水路幅を変更する必要があるれば、その段階で構造を検討する。

4)配慮事項

○表土利用

- ・植生の早期回復を図るため、必要に応じて水際部の表土は掘削時に仮置きし利用する。

上池縦断図（堆積土厚）



地質縦断図

